

～「(仮)みんなのひろば」検討高校生ワークショップ第2回を開催しました～

現在大槌町では、検討が進められている広場「(仮)みんなのひろば」について、整備イメージを考えるワークショップを行っています。

高校生ワークショップ第2回を開催しましたのでお知らせします。

第2回高校生ワークショップ結果概要

第2回高校生ワークショップの内容

◎開催日時：令和5年6月27日（火） 16：00～17：15

◎会場：岩手県立大槌高等学校

◎参加人数：8名

- ①前回のワークショップで考えたアイデアや大人の意見を踏まえ、広場でどんなことをしたいか、大槌や子どもたちに残したいモノ・コト・キモチとは何かを考えました。
- ②敷地内において譲れない施設やなくてはならないものについて考えました。



ワークショップの様子

ワークショップの結果

※意見の抜粋

①広場でどんなことがしたいか？大槌や子どもたちに残したいモノ・コト・キモチとは？

- ・走り回れる、ボール遊びができる
- ・水遊びができるところ（大人も涼めるような）
- ・アスレチック遊具で思い切り遊べる場所
- ・多世代が遊べる、交流できる
- ・植物・木々などの自然、桜、藤棚など
- ・大槌サーモンなど魚をモチーフにしたデザイン
- ・郷土芸能ができる場
- ・みんなで描くことができる場

②敷地内において譲れない施設やなくてはならないものは？

- ・走り回れる、ボール遊びができる場所
- ・水遊びができる場所
- ・基本的な遊具（ドイツ遊具、音の鳴る遊具等）
- ・植物、木々
- ・水道・自販機
- ・雨の日や暑い日も利用できる休憩スペース
- ・ハザードマップ（初めて来た人などに向けて）
- ・小さな店（お菓子屋さん等）、キッチンカー

遊びに関しては、**走り回れる**、**ボール遊びができる**、という意見が最も多く、体をたくさん動かすことができる「**アスレチック**」というキーワードがたくさん出ていました。

また、**大槌サーモンなどの魚類をデザインに組み込む**、**郷土芸能ができる場所を作る**など、大槌らしさを表現するためのアイデアも挙げられました。

なくてはならないと思う施設で一番多かった意見は、**ボール遊びや走り回れるスペース**で、次いで**遊具や水遊びの場**がほしいという意見が多く出ていました。ユーティリティ関係については、**水道・自販機**、**休憩スペース**、**屋根のある場所**などが挙げられました。他にも、**災害の危険性を伝えるもの**や**ハザードマップ**を表示したいという意見や、**小さなお店（屋台やお菓子屋）**など、子どもも楽しめる施設や、**ジビエや鮭料理などの大槌ならではのものが食べられるキッチンカー**があると、楽しい広場になるのではないかというソフト的なアイデアも出されました。

